

事業名:ベトナムにおける遺伝性血管性浮腫の診断方法の確立・治療の強化、ガイドライン策定の支援事業**実施主体:武田薬品工業株式会社****対象国:ベトナム社会主義共和国****対象医療技術等:①HAE*の検査、診断、治療、新規治療薬 ②HAE診療の中核拠点の構築****事業の背景**

- 世界には約7,000種類の希少疾患が存在し、その患者数は約4億人にもものぼると報告されており、国際的に希少疾患対策の重要性は高まっているものの、新興国での希少疾患の認知度は低い。特にHAEは未診断だと命に関わる可能性のある疾患である。
- HAEの罹患率(人口5万人に1人)から推計されるベトナムにおける患者数は約2,000名にもものぼる。しかしHAEは診断率が顕著に低い疾患であり(世界平均:54%、ベトナム:4%)、この4%の診断についても診断手段のないベトナムでは確定診断とは言えず仮の診断となっている。
- こうした課題に対処すべく、ベトナム保健省は希少疾患の診断・治療の改善のための覚書を当社と締結しており、ホーチミン喘息アレルギー臨床免疫学会もHAEの環境改善に取り組んでいる。

事業の目的

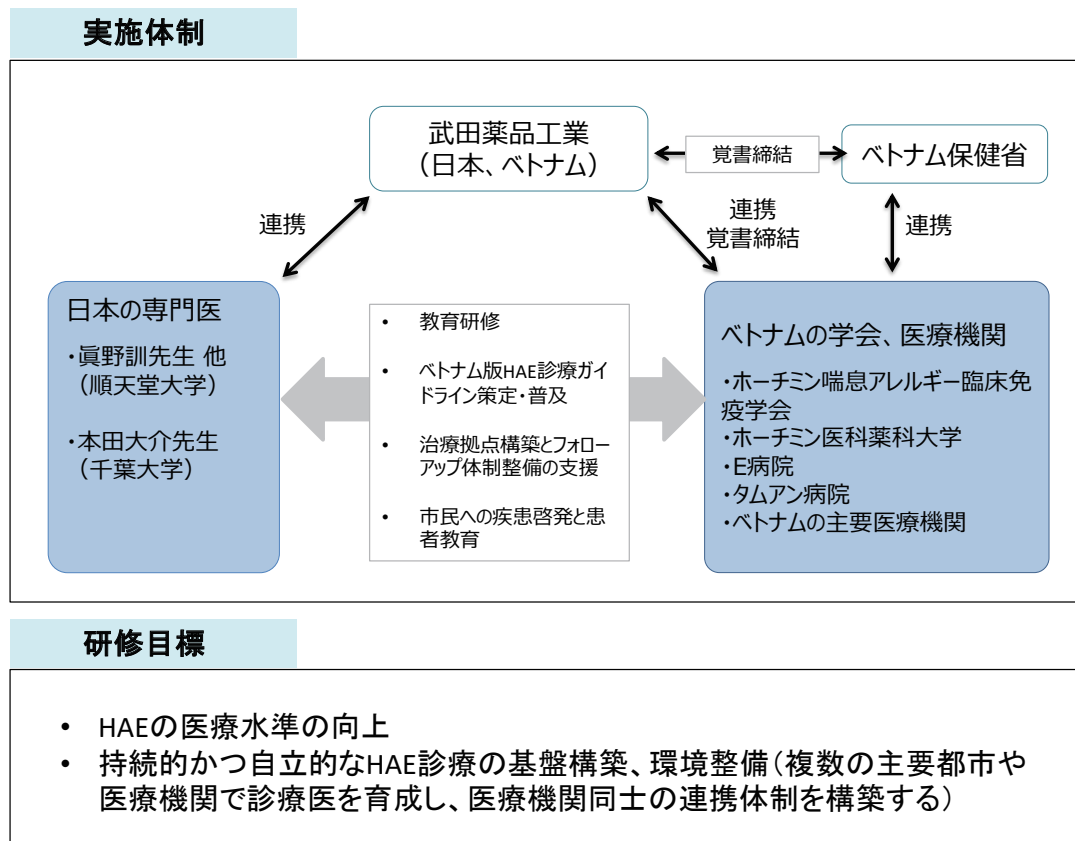
- 下記取り組みによってベトナムにおけるHAEの認知度向上、検査、診断、治療の向上に取り組む。
- 医療従事者、患者、社会への疾患啓発と教育:3年間の本事業を通じて作成した、現地版HAE診療ガイドラインや市民・患者向け疾患啓発資材を活用し、ホーチミン、ハノイ、カントー以外の重要エリアでも活動展開。
- HAE診療中核拠点構築:3年間の本事業を通じて構築したホーチミン、ハノイ、カントーの中核拠点病院に加え、その他中核都市での新規中核拠点病院と医師のネットワークを構築。

*HAE: Hereditary angioedema (遺伝性血管性浮腫)

武田薬品工業株式会社です。「ベトナムにおける遺伝性血管性浮腫の診断方法の確立・治療の強化、ガイドライン策定の支援事業」についてご報告いたします。

本事業へ応募するに至った背景は3つあります。①世界には約7,000種類の希少疾患が存在し、その患者数は約4億人にもものぼると報告されており、国際的に希少疾患対策の重要性は高まっているものの、ベトナムを含む新興国での疾患の認知度は相対的に低いこと、②特に遺伝性血管性浮腫(以下、HAE)という疾患は未診断のままだと命に関わる可能性のある疾患であるにもかかわらずベトナムにおける診断率が顕著に低いこと、③本事業開始前からベトナム保健省は希少疾患の環境改善のための覚書を当社と締結しており、また現地のホーチミン喘息アレルギー臨床免疫学会(以下、現地学会)もHAEの診療実態に課題を感じていたこと、これらの背景から2021年に本事業を開始するに至りました。

事業の目的は、ベトナム現地での疾患認知度の向上、検査・診断・治療の向上、診療中核拠点の構築、現地版HAE診療ガイドラインの作成等を通じた、HAEを取り巻く環境の改善です。



本事業の実施体制です。当社内で日本拠点とベトナム拠点で連携するとともに、ベトナム保健省および現地学会との協力覚書をもとに、ベトナム現地での事業遂行体制を整えました。また、日本の専門医の先生方から協力をいただくことで、日越間の教育・研修体制を構築しました。

研修目標については、HAEの医療水準の向上と、将来にわたる持続的かつ自立的なHAE診療の基盤構築、環境整備のために、現地の課題を特定した上で解決策を立案することとしました。

1年間の事業内容(2024年度)

2024年 6月	7月	9月	10月	11月	12月	2025年 1月
現地学会との 契約締結	7/2 Kick-off Meeting (Web) 現地医師 (22名)	☆9/15 ガイドライン普及 研修(現地対 面) @ダナン 現地医師 (40名) ☆9/26 症例検討会① (Web) 現地医師 (245名)	★10/27-31 HAE Master Class (日本実地研 修) @東京 現地医師 (6名) ☆10/24 症例検討会② (Web) 現地医師 (186名)	☆11/16 ガイドライン普及 研修(現地対 面) @カントー 現地医師 (42名) ☆11/21 症例検討会③ (Web) 現地医師 (150名)	★12/8 HAE Workshop (Web+ 現地対面) @ホーチミン 現地医師 (115名) ☆12/26 症例検討会④ (Web) 現地医師 (158名)	1/11 Review Meeting (現地対面) 現地医師 (11名)

☆：現地医師のみの研修

★：日本の専門医による研修

2024年度の事業内容です。今年度の活動は7月のKick-off Meetingからスタートしました。

9月と11月には本事業3年間で育成された現地医師によるベトナム版HAE診療ガイドラインの普及研修、そして10月にはベトナムから6名の医師を日本へお迎えし、日本の医療機関での実地研修等を行いました。

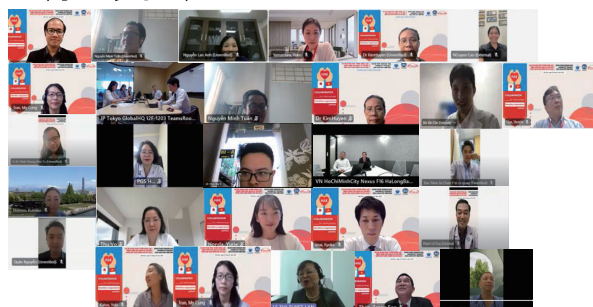
また12月には、日本の医師と共にベトナムへ渡航し、講義に加えて診療上の疑問など聴講者からの質疑応答を行いました。

このような対面を中心とした活動に加え、9月～12月は現地医師のみでオンラインでの症例検討会も4度開催しました。

1月のReview Meetingではベトナムへ渡航し、4年間の成果と残された課題を整理したうえで、今後の方針や取り組みについて現地医師と検討を行いました。

ベトナムにおける遺伝性血管性浮腫の診断方法の確立・治療の強化、ガイドライン策定の支援事業

武田薬品工業株式会社

2024年7月 Kick-off Meeting
(オンライン)2024年11月 ガイドライン研修
(ベトナム現地)2024年12月 HAE Workshop
(ベトナム現地)2025年 1月 Review Meeting
(ベトナム現地)

左上から7月のKick-off Meetingの様子です。本会議はオンラインで行い、現地医師22名および日越両国の当社社員9名が参加しました。はじめに過去3年間の事業の進捗について振り返りを行った後、2024年度の目標と具体的な活動内容について議論しました。

右上の写真は11月にベトナム南部のカントー地方で行ったHAEガイドライン研修の様子です。講師を含む現地の医師42名が参加し、本事業を通じて作成したベトナム版HAEガイドラインの内容を講義すると共にHAEの診断と治療における課題について議論を重ねました。

左下がベトナムのホーチミンで開催したHAE Workshopの様子です。冒頭に、現地学会のLan学会長よりオープニングスピーチがあり、NCGMと武田薬品に改めて感謝の言葉をいただくと共に、さらなる診療水準の向上を目指していくという力強いメッセージをいただきました。その後、武田薬品の本事業担当者より3年半の歩みを紹介しました。会の後半には千葉大学腎臓内科診療講師 本田大介先生より、急性発作治療薬の現地承認を踏まえたHAEの診断と治療についての講演とディスカッションを、現地の医師からはベトナム版HAEガイドラインについて、そして初めて急性発作治療薬が投与された症例についての講演をいただきました。

右下の写真は1月のReview Meetingの様子です。これまでの成果と残された課題について現地の医師とホーチミンで時間をかけて話し合いました。今後の目標として、更なる確定診断数の増加、ベトナム版HAEガイドラインの国定化、すべての州に診療拠点を構築することなどがあげられました。

2024年10月 Master Class(日本での研修)

10/28 (月)	14:00-15:30	HAEJ代表理事 松山真樹子さんレクチャー&意見交換
10/29 (火)	09:00-09:30	順天堂大学腎臓・高血圧内科学医局集合、自己紹介等
	09:30-10:30	臨床遺伝外来・臨床検査部 後藤景子先生レクチャー
	10:30-12:00	腎・高血圧内科 眞野訓先生 & 小林敬先生レクチャー
	13:00-15:30	院内見学 (外来、病棟、ICU/HCU、特別室、研究棟、臨床研究・治験センター)
10/30 (水)	09:30-10:30	小児科・思春期科 稲毛英介先生レクチャー
	10:30-11:30	看護部 小児科・思春期科 藤崎満里奈先生レクチャー
	16:30-18:00	腎・高血圧内科 眞野訓先生 & 深尾勇輔先生レクチャー



こちらは、10月に行った日本での3日間の実地研修の内容です。Lan 学会長を含め、現地学会が推薦した現地の医師6名と武田ベトナムの社員2名が来日しました。

ベトナムでの新たな HAE 診療拠点構築という目標に向けて、日本の診療拠点である順天堂大学 腎・高血圧内科 准教授 眞野訓先生のもとで研修を実施させていただきました。研修内容は、主に腎・高血圧内科の病棟、ICU/HCU、特別室、研究棟、臨床研究・治験センターの見学と、眞野訓先生・小林敬先生・深尾勇輔先生による HAE に関するレクチャーです。

また、臨床遺伝外来・臨床検査部 後藤景子先生より遺伝子検査について、小児科 稲毛英介先生・看護部 藤崎満里奈先生より、小児の HAE について講義をいただき、より詳細な診断に向けた遺伝子検査と、ベトナムでも診断例数が増えつつある小児 HAE についての理解を深めることができました。その他にも、現地での患者団体設立を目指し、日本の患者団体である HAEJ の松山真樹子代表理事から患者団体の活動や存在意義について講義をいただき、現地での設立の必要性を再確認できました。

どの研修プログラムにおいても、時間が足りないほど多数の意見や質問があり、参加医師の研修受講意欲の高さがうかがえました。また、今年度は本事業4年目でしたが、年度を追うごとにベトナム医師の HAE に対する経験や知識が飛躍的に向上していることが感じられました。

2024年12月 HAE Workshopに関するベトナム現地学会記事

Hội thảo “dự án phát triển năng lực bệnh hiếm phù mạch di truyền tại Việt Nam”

📅 Được đăng: 09 Tháng 12 2024 👁 Lượt xem: 203

Sáng ngày 8 tháng 12, tại khách sạn Nikko Sai Gon, Thành phố Hồ Chí Minh, Hội thảo “dự án phát triển năng lực bệnh hiếm phù mạch di truyền tại Việt Nam” đã được tổ chức.



こちらは現地学会のウェブページで、2024 年 12 月にホーチミンで開催した Workshop について掲載された記事です。

その他、昨年度作成した市民向け疾患啓発ビデオが YouTube などのオンラインチャンネルで発信されています。

これら複数のメディアやチャンネルを通じて本取り組みが発信されることが、いまだ診断につながっていない潜在的な HAE 患者さんの早期発見につながることを期待しています。実際に、本事業に関する記事を見た患者さんが本事業を通じて育成された診療医を受診し、確定診断につながったケースも出てきています。

今年度の成果指標とその結果

	アウトプット指標	アウトカム指標	インパクト指標
実施前の計画	1)教育研修 ・4回で現地医師合計300名以上の参加 ・新規診療拠点候補2エリア以上からの参加 ・連携の多い診療科からの参加 2)HAE診療ガイドライン普及研修 ・新規診療拠点候補2エリア以上へのリーチ ・学会ガイドラインの国定化検討開始 3)HAE診療中核拠点 (Center of Excellence: CoE) 構築支援 ・現地医師10名が研修に参加 ・新規診療拠点候補2エリア以上でCoE構築 4)疾患啓発/患者教育 ・新規診療拠点候補2エリア以上へのリーチ	1)左記の1), 2), 4)の教育研修とガイドラインの普及、疾患啓発を受けて: ・ホーチミン・ハノイ・カントー以外の新たな2エリアにおいてHAEを診療できる医師を1名以上/エリア育成 ・HAEの新規確定診断10例(2022年度8例、2023年度7例) 2)日本での研修を受けて: ・新規診療拠点候補2エリア以上でCoE構築 3)疾患啓発活動を受けて: ・ホーチミン・ハノイ・カントー以外の新たな2エリアにおけるHAE患者の掘り起こし ・患者会設立に向けての課題やアクションの明確化	1. CoE・病院間ネットワーク拡大 ・昨年度までの構築したCoEの地域以外のエリア(カントー(南部)、フエ、ダナン(中部)、ハイフォン(北部))でHAE患者が診療医にアクセスできている 2. 現地版HAEガイドライン普及とアップデート ・本事業を通じて作成したガイドラインが国家ガイドラインとして位置づけられ、事業終了後も現地で自立的にアップデートされている 3. 新規治療薬の薬事承認取得/医療アクセス確立 ・急性発作治療薬:薬事承認(2024年予定)と保険償還(2028年以降見込み)を待たずに武田薬品負担で無償提供プログラムを開始 ・急性発作発症抑制薬:承認取得(2025年)、保険償還(2028年以降見込み)を目標
実施後の結果	1)教育研修 ・5回で現地医師合計854名の参加 ・北部のThanh Hoa, Nghe An, 中部のDa Nang, からの参加あり ・消化器内科・皮膚科・小児科、その他臨床免疫科・呼吸器内科等からの参加あり 2)HAE診療ガイドライン普及研修 ・2都市(Da Nang, Can Tho)で現地医師合計82名の参加 ・ガイドライン国定化について保健省認定学会であるVAACIとの連携を開始 3)HAE診療中核拠点 ・現地医師5名参加 ・ハノイで追加2施設構築&Da Nang(中部), Nha Trang(南部), Can Tho city(南部)をCoE候補とした 4)疾患啓発/患者教育 ・広い地域ヘリーチ患者団体設立に向けて現地の医師団体VORDと連携開始	1)診療医師育成と診断促進について ・HAE診療医師は合計29名となった(ハノイ15名、ホーチミン9名、Nghe An2名、Thanh Hoa1名、Da Nang1名、Can Tho1名) ・今年度新規18例診断でき、累計33例となった 2)ハノイにおいて108 Military Hospital, VINMEC Times City Hospitalの2施設が新規CoEとなった。新たなエリアとしてDa Nang(中部), Nha Trang(南部), Can Tho city(南部)をCoE候補とした。 3)患者の掘り起こしと患者団体について ・HAE患者33名の居住地はハノイ8名、ホーチミン6名、Dong Nai5名、Thanh Hoa4名、Thai Binh4名、Dak Lak3名、Binh Duong1名、Ninh Binh1名、Quang Ninh1名であり、広いエリアで診療医にアクセスできるようになった ・HAEJ(日本の患者団体)から患者団体の意義を確認し、設立に向けた検討を開始	1. CoE構築と診療フォローアップ体制の発展 ・現在CoEと呼べるのは5施設(ホーチミンのホーチミン医科薬科大学病院、Tam Anh Hospital, ハノイのE Hospital, 108 Military Hospital, VINMEC Times City Hospital)であり、他エリアからもHAE患者が診療医にアクセスできるようになっている 2. 現地版HAEガイドラインの普及とアップデート ・2025年3月に国家ガイドラインが最終化、2025年4-5月に公表予定であるため、本PJガイドラインの内容を反映させるべく検討を進めている 3. 新規治療薬の薬事承認取得/医療アクセスの確立 ・急性発作治療薬:薬事承認前に薬剤を輸入使用できるプログラム(IPR: Individual Patient Request)で108 Hospital が本剤の輸入を行い、9月に発作を起こした1人の患者さんに投与され、奏功した。正式な薬事承認は2025年に延期となる ・急性発作発症抑制薬:2022年薬事承認申請、承認取得(2025年)、保険償還(2028年)に向けて準備中

今年度の成果指標とその結果です。アウトプット指標、アウトカム指標、インパクト指標いずれの指標においても実施前の計画を概ね達成することができました。

教育研修については計画の2倍を上回る延べ978名以上の医師が受講しました。また、本事業を通じて作成したベトナム版HAE診療ガイドラインの普及研修については、スケジュール等の都合で2都市での開催となりましたが、対面参加のみとして現地でのディスカッションを重視した内容で実施しました。これらの取り組みの結果、今年度は計18例のHAE新規確定診断につながっています。

HAE中核拠点構築については、今年度もベトナムの主要医師をお招きし、日本の医療機関での実地研修を行ったことで、ホーチミン、ハノイを中心に今年度新たに2施設の中核拠点病院が加わり、4年間で計5施設の中核拠点病院を構築することができました。このエリア以外にも教育研修や疾患啓発はリーチできており、HAEの診療医師は合計29名、診断された患者数は合計33名となりました。

今年度の成果として注目したいのは、薬事承認前に薬剤を輸入使用できるベトナム保健省認可のプログラム(IPR: Individual Patient Request)を通じてハノイの108 Military Hospitalが薬剤の輸入を行い、9月に発作を起こした1名の患者さんにベトナムで初めて投与され、奏功したという点です。ただし、まだ1名の患者さん、かつ輸入本数が限られていることから、引き続き正式な薬事承認を待っている状況です。

今年度の対象国への事業インパクト

医療技術・機器の国際展開における事業インパクト

- 2021年度:本事業を通じてホーチミン喘息アレルギー臨床免疫学会と日本の専門医がベトナム初となるHAE診療ガイドライン策定を開始
- 2022年度:上記のHAE診療ガイドライン策定が完了
- 2023年度:ガイドライン普及のための研修を2度行い現地医師203名が参加
- 2024年度(今年度):
 - ・ ガイドライン普及のための対面研修を2度行い現地医師82名が参加
 - ・ 当社が協力覚書を締結しているベトナム保健省およびホーチミン喘息アレルギー臨床免疫学会と協力し、本ガイドラインが国のガイドラインに反映されるように、他の保健省認定学会であるVAACI (Vietnam Association of Allergy, Asthma and Clinical Immunology) と議論を進めている
- 疾患認知度、検査、診断、治療、医師間連携、診療拠点構築、新規治療薬の導入準備など、HAEに関する全般的な環境改善

健康向上における事業インパクト

- 事業で育成した保健医療従事者(延べ数)
 - ・ 日本で研修(講義・実習等)を受けた研修員の合計数: 42名
 - ・ 対象国で研修(講義・実習等)を受けた研修員の合計数: 936名
 - ・ 研修(講義・実習等)を受けた研修員の合計数: 978名
 - ・ 過去に研修を受けて講師・専門家となった現地の講師・専門家の合計数: 5名

今年度の対象国への事業インパクトについてです。

医療技術の国際展開におけるインパクトについて、当社とベトナム保健省および現地学会との間の協力覚書をもとに、HAEの環境改善に官民連携で取り組んだことが、事業インパクトにつながる重要な要素になっていると考えます。この連携基盤をもとに、各種取り組みを通じて HAE に関する疾患認知度、検査、診断、治療、医師間連携、診療拠点構築、新規治療薬の導入準備など、HAE を取り巻く全般的な医療水準の向上に取り組んできました。

2024 年度は昨年度に引き続き、2022 年度に策定したベトナム版 HAE 診療ガイドラインをベトナム医師へ普及させるべく、ガイドライン普及研修をダナンとカントーの2エリアで対面開催し、82名の医師に参加いただくことができました。これと並行し、本ガイドラインが国のガイドラインに反映されるように、他の保健省認定学会である VAACI (Vietnam Association of Allergy, Asthma and Clinical Immunology) と検討を開始することができました。

これまでの成果

2021～2024年度の成果

- ・ 現地の課題に沿った35回の教育研修に延べ3,540名の現地医師が参加した。
- ・ 現地の医師が、HAEに関する①教育研修、②疾患啓発、③検査・診断、④データベース、⑤治療薬への早期アクセスの5つのグループを作り、自主的にHAEの環境改善に取り組む体制ができあがった。
- ・ 本研修を通じて現地の医師29名が新たに講師・専門家となった。
- ・ HAE診療拠点病院を5施設構築でき、ベトナムで計33例のHAEの確定診断がついた。
- ・ ベトナム初のHAE診療ガイドライン1種、疾患啓発/患者向け教育資材6種が完成した。
- ・ 現地の複数メディアに本事業が取り上げられたことから、医療関係者や一般市民への本事業とHAEの認知度向上が進んだ。

今後の課題

- ・ これまでの事業を通じてホーチミンとハノイに5施設のCoEを構築することができ、33例(対推定患者数2%未満)の確定診断が付いたものの、いまだHAEを診断できる医師は限定的である。今後、他の主要都市や医療機関でも診療医を育成し、医療機関同士の連携体制を構築する必要がある。
- ・ 確定診断数が増えてきたことで、診断後に処方できる有効な治療薬が存在しないという課題意識が強まった。HAEは遺伝性疾患であるため、診断を受けた患者の家族や親戚には幅広くファミリーテストを受けてもらいたい、治療薬がないことを理由に拒否されることも多い。治療を必要とする患者が多くいることを引き続きベトナム保健省に示すことで、承認が遅延している治療薬(急性発作治療薬、急性発作発症抑制薬)の早期の薬事承認・保険償還につなげたい。

今年度を含む過去4年間の成果と課題について紹介いたします。

現地の課題やニーズに合った研修を実施できたことに加え、累計35回の教育研修を行ったことで、延べ3,540名の医師が研修に参加しました。その中で日本での実地研修へ参加された現地のHAE診療中核医師を中心に、現地の医師が自主的にHAEに関する①教育研修、②疾患啓発、③検査・診断、④データベース、⑤治療薬への早期アクセスの5つのグループを作り、HAEの環境改善に取り組む自立的な体制ができあがりました。医師への疾患啓発、疾患理解を通じてホーチミン、ハノイに5カ所のHAE診療拠点病院ができ、計33例のHAE確定診断に結び付けました。

また、ベトナム初のHAE診療ガイドライン1種、市民向け疾患啓発・患者向け教育資材計6種を作成・活用し、これら一連の取り組みが現地の複数のメディアに取り上げられたこともHAEの認知度向上、ひいては確定診断数の向上につながっています。

今後の課題としては大きく2点です。1つは4年間の事業を通じてホーチミンとハノイに3施設のHAE中核拠点病院を構築することができた一方、わずか数人の医師で33例の確定診断を付けているのが現状であり、ベトナムに2,000名程度いると推定されているHAE患者さんを診断・治療へと結びつけるためには、ダナンやハイフォンなど他の中核都市においても診療医、診療拠点を構築する必要があります。

2つ目は、確定診断数が増えてきたことで、診断後に処方できる有効な治療薬が存在しないという課題意識が医師の中でより強くなっているということです。HAEは遺伝性疾患であるため、診断を受けた患者の家族や親戚には幅広くファミリーテストを受けてもらいたいのですが、治療薬がないことを理由に拒否されることも多い状況です。治療薬(急性発作治療薬、急性発作発症抑制薬)は承認が遅延しており、現時点で承認されていませんが、治療を必要とする方々が多くいることを引き続きベトナム保健省に示すことで、早期承認につなげていきたいと考えています。

将来の事業計画

【今後の事業計画】

教育研修(検査・診断・治療)

- 日本の専門医及び本事業を通じて育成できた現地医師から教育研修を行うことで、新規CoE構築を目指すエリア、または新たな診療科からHAE診療医を育成し、診断率の向上を目指す(指標:10例/年以上の新規確定診断)。

HAE診療ガイドライン普及

- 本事業を通じて作成したガイドラインをベトナム全土の医師へ普及させるため、ベトナム保健省と現地医師を中心に、本ガイドラインを国のガイドラインへ反映させる議論にも注力していく。

診療拠点構築と病院間ネットワーク構築

- 診療拠点に必要な機能・条件等について日本の医師から助言いただく。
- 本事業を通じて育成した医師と今後育成する医師の間で病院間ネットワークを構築する。

疾患啓発・患者教育

- 本事業を通じて作成した疾患啓発・患者教育資材を普及させ、疾患理解や早期診断につなげる。
- 患者団体設立に向けての課題やアクションを明確にする。

【将来の波及効果】

- 本事業終了後も、これまでに関係構築した日越両政府と連携しながらベトナム側が自立してHAE診療の環境整備に取り組んでいく。昨年度より現地学会の主導で、現地の医師のみで症例検討会やガイドライン普及研修が複数回行われた。
- HAEの新薬(急性発作治療薬、急性発作発症抑制薬)の早期の薬事承認、また承認後に適正使用され、ベトナムにおいても先進国と同様の治療薬・予防薬にアクセス可能な環境を築く。
- 本事業終了後に記事化を検討しており、他の希少疾患や他地域への横展開の必要性を日本/アジアの関係者に発信し、各国政府と連携しながら日本を中心としたアジアのHAE/希少疾患治療のエコシステムを創出する。

最後に、今後の事業計画について紹介いたします。

NCGM 事業を通じての支援は今年度が最後となりますが、現地での事業は今後も続いていきます。これまでと同様 HAE の検査・診断・治療等の教育研修を継続し、診療・講義できる医師を増やしていく必要があります。ホーチミン、ハノイ以外の中核都市でも新たな HAE 拠点病院を構築することで、より多くの新規確定診断につなげたいと考えています。加えて、ベトナム現地版 HAE 診療ガイドラインを更にベトナム全土の医師へ普及・浸透させるため、ベトナム保健省と現地医師を中心に、本ガイドラインを国のガイドラインへ反映させる議論にも注力していきます。

診療拠点と病院間ネットワークの構築については、これまでに本事業を通じて育成した HAE 診療医と日本の専門医の関係は構築できたので、必要に応じて今後も連携を進めていただく予定です。

更なる疾患啓発、患者教育については、これまでに作成した資材を様々なチャネルを活用して広く普及させ、HAE の疾患理解や早期診断につなげると共に、ベトナム初となる HAE 患者団体の設立に向けての課題やアクションを明確にしていく予定です。本事業を通じてベトナムにおける HAE の医療水準向上に貢献し、日本とベトナムの相互利益に繋げていくことに加え、事業終了後には本取り組みを記事にしていくことで、他国や他の疾患領域への横展開を検討しています。

今年度の実施にあたりましては、厚生労働省、NCGM、在ベトナム日本国大使館、在ホーチミン日本国総領事館、JETRO ホーチミン事務所、JETRO ハノイ事務所、ならびに HAEJ 代表理事 松山真樹子さん、順天堂大学 眞野訓先生、小林敬先生、深尾勇輔先生、後藤恵子先生、稲毛英介先生、藤崎満里奈先生、千葉大学 本田大介先生をはじめとする多くの関係者の皆様のご支援をいただきました。この場をお借りして深く感謝申し上げます。

(武田薬品工業株式会社 医療政策・ペイシェントアクセス統括部 渉外 本多由里絵 加藤由紀 今井亮翔)